

令和5年度
とやまスタートアッププログラム in 東京



PROJECT REPORT

成果報告書

令和5年度
とやまスタートアッププログラム in 東京 成果報告書

◆ 知事・講師からのメッセージ	1
◆ プログラム概要	2
◆ スケジュール	3
◆ プログラムの様子	4
◆ DEMO DAY 2024	7
◆ DEMO DAY 2024 優勝・準優勝者からのコメント	15
◆ 受講生からのコメント	16

知事メッセージ



富山県知事

新田 八朗

富山県が令和4年2月に策定した「富山県成長戦略」の柱には、自分らしく生き生きと生きられること、主観的な幸福度を重視した、真の幸せ「ウェルビーイング」の向上を据えています。暮らしのなかの真の幸せを実感し、誇りと愛着を持つことができる富山県、また、そういう富山県に引き寄せられて、多様な人材が集積する「幸せ人口1000万〜ウェルビーイング先進地域、富山」の実現を目指しています。

そのための施策の柱の一つとして、スタートアップ支援を掲げており、核となる突き抜けた人材が県内でのびのびと活躍しやすくなるよう環境整備を進めています。起業家が生まれ、成長できる環境を構築し、移住者を含めた多様な人材による活発な創業を促進していきます。

本県が全国の自治体としては初の取組みとして開始した、東京で移住と起業を併せて支援す

るこの「とやまスタートアッププログラム in 東京」も重要な支援施策の一つです。第5期生の皆様には、起業家教育の第一人者で本県出身の熊野神戸大学教授の熱意あふれる指導のもと、7か月間、日々研鑽に努められ、講義や実地研修等を通じてビジネスプランを磨き上げられました。

本プログラムの実施にあたり、熊野先生をはじめ、ご協力をいただいた講師陣、県内企業、関係の皆様へ深く感謝申し上げます。最終発表会の優勝者ほかファイナリスト8組、そして受講生の皆様全員が、本県においてビジネスプランを実現し、大活躍されることを大いに期待しています。県としても全面的にバックアップしていきますので、ぜひチャンスがあり、夢を叶えることができる富山県で、共に、ワクワクする新しい未来をつくっていきましょう。

講師メッセージ

とやまスタートアッププログラム in 東京 監修
神戸大学 産官学連携本部 教授

熊野 正樹（富山県出身）

日本政府は、「スタートアップの育成」と「地方創生」を国家戦略の重要な柱として位置付けています。我が国が目指すべき姿として、「我が国の経済成長の起爆剤」となり、「世界共通の社会課題の解決に貢献」するスタートアップが、自発的・連続的に創出する社会の実現を目指しています。政府は2022年を「スタートアップ創出元年」と位置づけて、スタートアップの育成を本格化しています。また、地方創生の観点からも、地域での有望な起業家の発掘に可能性を見出し、地方から世界市場を目指すスタートアップへの期待は非常に高まっています。

一方、地方創生の鍵は、若者の地方への定住であり、そのためには、若者の仕事が地方に必要なとなってきます。若者の仕事が地方に十分になるのであれば、自ら起業して、地方に魅力ある仕事を創るということもその解決策となります。

このような中で、本県への移住・起業を希望する富山県外在住の若者を対象とした起業家育成講座「とやまスタートアッププログラム in 東京」は、全国初となる非常に意義のある取り組みです。

スタートアップ人材においても、東京一極集中と言われますが、東京が地方出身者の集まりだとするならば、一定数は富山県出身者や富山にゆかりのある方であり、実際にそのような優秀な方が多数受講され、富山での起業に向けて、大変熱心に、かつ楽しくプログラムが進行いたしました。

多様な受講者によるコミュニティが形成され、富山県や県内企業、ベンチャーキャピタル等の支援企業の協力により、富山県におけるスタートアップエコシステム構築の大きな一歩を踏み出しています。この取り組みを一層強化し、富山から日本を、そして、世界を変えるスタートアップが創出されると信じています。

プログラム概要



富山県では、国の起業支援金（東京23区からの移住・起業で最大300万円支給）制度の創設を受け、全国の自治体としては初めて、富山県へ移住し起業を希望する方を支援するため、東京都内での起業家育成プログラム『とやまスタートアッププログラム in 東京』を令和元年より開講しています。

昨年度に引き続き、県内のスタートアップ機運醸成及び東京・富山のネットワーク強化を図るため、県内においても同時開講しました。

令和5年7月15日（土）より開講。講師には起業家教育の第一人者である神戸大学 産官学連携本部 熊野 正樹教授（本県出身）を迎え、31名（受講生+協賛企業参加枠2名）の受講者でスタートしました。

5期受講生概要：＜内訳＞計 29 名

受講期間：令和5年7月15日（土）～令和6年2月17日（土）※全8回

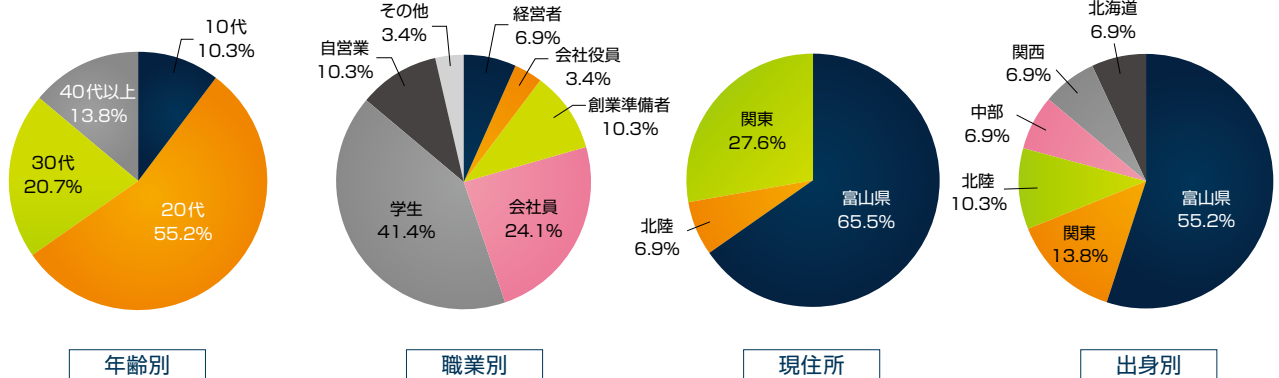
募集期間：令和5年5月18日（木）～6月30日（金）

対象：県内もしくは県外在住で、本プログラムを受講後2年以内（学生の場合、卒業後2年以内）に富山県で起業し、移住を希望する概ね18歳から40代の方

受講料：1万円（税込）

平均年齢：28.4歳

＜5期受講生内訳＞計 29 名



スケジュール

回	実施期間	開催場所	講義内容
1	令和5年7月15日(土)	東京	<開講式> 起業マインドの醸成、オリエンテーション 【基調講演】 レオス・キャピタルワークス株式会社 代表取締役会長兼社長 CEO&CIO 藤野 英人 氏 「投資家的に生きる」
2	令和5年8月5日(土)	東京・富山	ビジネスプランの検証、ビジネスプラン作成講義
3	令和5年9月2日(土)	東京・富山	ビジネスプランの検証、ビジネスプラン作成講義
4	令和5年10月7日(土)	東京・富山	ビジネスプランの検証、ビジネスプラン作成講義
5	令和5年11月11日(土)	東京・富山	ビジネスプランの検証、ビジネスプラン作成講義
6	令和5年12月2日(土)	富山	ビジネスプランの検証、ピッチ演習、知事との意見交換 【基調講演】 一般社団法人 AgVenture Lab 代表理事 理事長 農林中央金庫 特別参与 荻野 浩輝 氏 「いま、世界で起こっていること ～食と農とスマートシティのスタートアップが地球と子供たちの未来を救う～」
	令和5年12月3日(日)	富山	個別相談会 @SCOP TOYAMA
7	令和6年1月13日(土)	東京・富山	ビジネスプラン発表(セミファイナル) DEMO DAY 2024 ファイナリスト選考会
8	令和6年2月17日(土)	東京	< DEMO DAY 2024 > ベンチャーキャピタル等を招聘したピッチ大会 <修了式>及び<交流懇親会>



プログラムの様子

東京・富山をオンラインでつないで同時開講

東京会場は AgVenture Lab



プログラムの様子

東京・富山をオンラインでつないで同時開講

富山会場は SCOP TOYAMA



12 月は富山開催

「富山県民会館」にてビジネスピッチを行う様子／知事との交流
—令和5年12月2日(土)—



富山県内での開講は SCOPTOYAMA



とやま
スタートアップ
プログラム in東京

DEMO DAY 2024



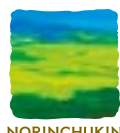
日 時 2024 年 2月17日 土 13:00–17:00
会 場 AgVenture Lab (東京・大手町)
主 催 富山県

とやまスタートアッププログラム in 東京 DEMO DAY 2024

主 催



GOLD SPONSOR



農林中央金庫

SILVER SPONSOR



北陸銀行

BRONZE SPONSOR



協 力



Ag Venture Lab

(※五十音順)

TOYAMA STARTUP PROGRAM in TOKYO DEMO DAY 2024

【主 催】 富山県
【会 場】 AgVenture Lab
東京都千代田区大手町 1-6-1 大手町ビルディング 9 階
【問い合わせ先】 富山県 成長戦略室 スタートアップ創業支援課
Tel: 076-444-8908 Email: aseichosenryaku@pref.toyama.lg.jp

とやまスタートアッププログラム in 東京 DEMO DAY 2024について

「スタートアップの創出」に力を入れる富山県では、地方の自治体としては全国初となる都内での起業家育成プログラム『とやまスタートアッププログラム in 東京』を開講しています。

昨年度に引き続き、県内のスタートアップ機運醸成及び東京⇄富山のネットワーク強化を図るため、県内においても同時開講しました。

本プログラムの集大成として、ファイナリスト8チームが発表する DEMODAY を実施します。

審査にあたっては、スタートアップへの投資判断をベースに①市場性、②独創性、③実現可能性、④富山県（社会）へのインパクト、⑤プレゼンテーションの内容の5つのポイントを重視します。



プログラム Program

- 13:00 — 開会挨拶
- 13:05 — 審査員紹介・審査基準発表
- 13:10 — チーム発表(前半)
- 14:25 — 休憩
- 14:40 — チーム発表(後半)
- 15:45 — 休憩
- 16:15 — 審査発表・表彰式
- 16:45 — 閉会挨拶・終了

※スケジュールは前後する可能性がございます。

賞 Awards

優勝

準優勝

協賛企業賞

農林中央金庫賞
北陸銀行賞
インテック賞
ファーストバンク賞
日本海ラボ賞
北陸電力グループ賞



ファイナリスト Finalists



ロールナビ

ロールモデル紹介型のキャリア支援サービス事業

麻生 和寛

キャリアで悩んでいる相談者はロールモデルとなりえそうな人を紹介され、キャリア設計、考え方、生き方等をナビゲートしてもらうサービスです。



Team カーボンニュートラル

太陽光油田事業

越後 敬介

「太陽光油田」事業は、CO2を増やさない e-fuel と呼ばれる人工燃料を製造し、全世界に供給するビジネスです。ガソリンなどの化石燃料をすべて e-fuel に置き換えることが目的です。太陽光発電コストを 1/4 以下にする技術と取り組みを基盤に、多数の企業と連携し、経済的に競争力のある e-fuel の製造・供給の仕組みを構築します。



ふるさとコネクト

出身者とふるさとを結ぶプラットフォーム事業

高島 一誠

富山県人会を守り、継続的、発展的なネットワークにするため、出身者をデータベース化する。故郷とのつながりを強化し、県人会の新たな魅力を創出。出身者と故郷、出身者同士を繋ぐ、故郷の地方創生をすすめるプラットフォーム事業を構築する。



TherapEase (セラピーズ)

遠隔リハビリテーション事業

伴 大輔／澁谷 優斗／紺島 悠生

リハビリ難民に陥りやすい有料老人ホームなどの施設入居者に対するサービスです。日本初の在宅リハビリテーションデータベースを使用して、リハビリ職が少ない地域や施設でもエビデンスを担保した遠隔リハビリテーションを実施することでウェルビーイングの向上を図ります。



アグリ・リノベイト

遊休施設で農業工場事業

八幡 磨未子

農家近隣の遊休施設を使い、農業工場を運営、和製ボルチーニやスプラウト系などの高単価品を生産・出荷を狙う。スタッフは閑散期の農家をマッチング、不安定な農業者の雇用の安定を図り、農家のためのサブ農業をしかけたい。レストラン売込み、海外出荷も想定したシステムを構築し様々な地域で対応できるビジネスをつくる。



HITOTOKI TOYAMA

林業の端材活用エコシステム構築事業

長田 光司／斎藤 李樹

林業の木材製材過程で廃棄されている端材を林業事業体から買い取り、形や大きさに応じて加工し、適材適所に流通させる。



BroBond

習慣形成促進事業

折川 瑞樹／藤田 拓蔵／寺田 和真

ユーザーは自由に目標、期間、チャレンジ料金（リアルマネー）が設定でき、目標達成時には賭けた金額が返金され、さらに宝くじ券の配布などの報酬も考えております。失敗時には半分がユーザーが選択した寄付先に寄付される仕組みです。このアプローチは、個人の自己実現と社会貢献を同時に促進することを可能としています。



DACoord

データ分析コラボレーションツールの開発事業

永田 隼平／米山 浩行／塩口 泰地

現在、データ分析プロジェクトは87%が失敗しています。

私たちは、根本の課題はプロジェクトの管理者と分析者の間のコラボレーションの問題だと感じております。

DACoord は管理者と分析者をつなげ、データ分析プロジェクトの全体像を可視化することで、品質管理を促進し、プロジェクトを成功に導きます。

審査員 Panel of Judges

(※五十音順 敬称略)



植嶋 徹 Toru UESHIMA

株式会社北陸銀行
コンサルティング営業部 推進役

1990 年、東京銀行(現三菱 UFJ 銀行)入行、グループの証券会社(現三菱 UFJ モルガンスタンレー証券)にて 10 年間の営業・トレーディング業務を経て 2008 年から三菱 UFJ キャピタルにてベンチャー投資に従事。キャピタリストとしてリード案件 6 件(うち 2 件が IPO 実現)を含む 30 件以上に投資。その後保育系ベンチャーに転職、取締役 CFO を 3 年歴任、2023 年 5 月から現職。



荻野 浩輝 Koki OGINO

農林中央金庫特別参与
AgVenture Lab 代表理事 理事長

1990 年 4 月 農林中央金庫入庫。
2000 年にカリフォルニア大学バークレー校でインターネットビジネスを学ぶ。システム企画部・リスク管理業務・データマネジメントの責任者を経て、2017 年 7 月のデジタルイノベーション推進部新設とともに現職。併せて農業や社会の課題を解決するイノベーションの創発のため 2019 年 5 月に設立された JA グループのオープンイノベーションラボ「AgVenture Lab」の代表理事を務める。



尾崎 千紘 Chihiro OZAKI

株式会社環境エネルギー投資
投資部 キャピタリスト

投資銀行にて日本株・欧州株のリサーチ・機関投資家営業に従事後、コンサルティングファームにて PE ファンド投資先等のバリューアップや再建支援、経営戦略策定に従事。その後 IT 系 VC における LP 出資・スタートアップ出資業務に従事後、現職。



永井 優美 Yumi NAGAI

マネックスベンチャーズ株式会社
シニアインベストメントマネジャー

2011 年 大手人材会社入社。新卒採用メディア・コンサルティング営業 / 人事、採用担当 / ベンチャー企業への出資とアライアンス提携業務 (CVC) の 3 職種に従事。

2018 年 9 月 マネックスベンチャーズ株式会社 入社。現在は幅広い業界のシード、アーリー企業への出資と出資後の支援に従事。

2023 年より、同社内の取り組みとして東京ウェルネスインパクトファンドが創設され、インパクト投資を開始。主にヘルスケア、ウェルネス領域全般を担当。



服部 将大 Masahiro HATTORI

W fund
パートナー

2008 年、三井住友銀行入行。2010 年 7 月、SMBC ベンチャーキャピタル発足時メンバーとして参画。その後日米で VC 投資を行う独立系 VC の DNX Ventures へ参画。リーマンショック直後の厳しい投資環境下から一貫してベンチャー投資に携わり、これまでに 7 社が IPO、7 社が M&A を果たしている。主な投資先はスマートニュース、グッドパッチ、チームスピリット、クックビズ、UPDATER、ペイトナーなどシードからレイターステージまで幅広く担当。2020 年 1 月から W fund に参画。



藤野 英人 Hideto FUJINO

レオス・キャピタルワークス株式会社
代表取締役会長兼社長 CEO&CIO

野村投資顧問(現：野村アセットマネジメント)、ジャーディンフレミング(現：JP モルガン・アセット・マネジメント)、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントを経て、2003 年レオス・キャピタルワークス創業。中小型・成長株の運用経験が長く、ファンドマネージャーとして豊富なキャリアを持つ。投資信託「ひふみ」シリーズ最高投資責任者。投資啓発活動にも注力する。東京理科大学上席特任教授、叡啓大学客員教授、淑徳大学地域創生学部客員教授。



松永 和彰 Kazuaki MATSUNAGA

ANOBKA
アソシエイト

スタートアップにて、10 名から 100 名超までの成長フェーズで事業・組織作りを経験。その後、ANOBKA に参画し投資担当として、ソーシング、投資実行ならびに投資先支援に従事。



山室 芳剛 Yoshitaka YAMAMURO

富山県
理事・知事政策局次長

2006 年経済産業省入省後、法人税制やデジタル産業政策、環境産業政策、ジェトロバンコク駐在、世界経済フォーラム 4IR 日本センター長などを経て、2023 年 7 月より富山県理事・知事政策局次長。東京大学卒、ハーバード大学行政学修士。

東京都「AgVenture Lab」にて「DEMO DAY 2024」の様子

—令和6年2月17日(土)—





DEMO DAY 2024 GrandPrix 優勝 VOICE

<優勝> TherapEase (セラピース) / 伴大輔、澁谷優斗、紺島悠生
遠隔リハビリテーション事業

とやまスタートアッププログラムは、講師陣、スタッフさんが親切で居心地の良さを感じながらも貴重な学びを得られるプログラムでした。

実施期間の8ヶ月間は起業をする上での第一歩として、とても貴重な経験をさせていただきました。

今回のプログラムで学んだことは以下の3つです。

① 様々なバックグラウンドを持った人々との「Team: チーム」:

本プログラムは、チーム構築から始まりました。個人的には「いきなり知らない人とチームを組んでと言われても・・・」という気持ちが本音でした。しかし、意外にも懇親会の雰囲気よかったからか、ファイナンス担当の紺島さん、エンジニア担当の澁

谷さんとチームを組むことができ、結果として非常に多くの学びを得ることができました。本来であれば出会う機会の少ない、ファイナンス分野に明るい方やエンジニア分野に明るい方と出会えたのは貴重な財産です。

② 講師陣やゲスト、審査員の方々からの貴重な「Feedback: フィードバック」:

本プログラムは、ピッチをさせていただく機会が非常に多いプログラムです。

序盤は講師陣に3分間で自身の事業を簡潔に説明することができるようになるために様々な知見や技術を教授いただき、毎回ピッチを見ていただく中で自身の事業と向き合い続ける作業を行いました。終盤になると新潟県知事やファイナルでの豪華な審

査員の方々からの鋭いフィードバックをいただくことができました。本当に今後の事業に大きく影響を及ぼすような価値のある自身の学びとなりました。

③ 富山で起業するための「Chance: チャンス」:

自身は富山県出身でもなければ、富山県育ちでもない人間です。妻が富山県の出身であったために本プログラムに興味を抱きました。そんな人間でしたが、本プログラムでは様々な富山県庁の方々や富山の企業の方々、また同じプログラムに参加した富山に住んでいる方々とも出会うことができ、来年度には富山県で起業をしようと検討しています。こういった温かい方々と出会うことができ、貴重なチャンスを得ることができるプログラムに参加できたことはとても有意義な機会でした。



DEMO DAY 2024 Second Prize 準優勝 VOICE

<準優勝> HITOTOKI TOYAMA / 長田光司 斎藤李樹
林業の端材活用エコシステム構築事業

今回のプログラムで学んだことは以下の3つです。

スタートアップのピッチ作成方法:

私はこれまでフリーランスとしていくつかのビジネスをしてきたものの、スタートアップビジネスを考えるのも、ピッチ資料を作るのも今回のプログラムが初めてでした。全8回の講義の大半はピッチ発表を行い、講師の先生からフィードバックを頂き、ビジネスプランや資料の修正を繰り返すという超実践型のプログラムで、ピッチの型や伝わりやすいストーリーや資料の見せ方など、すぐに実践の場で使える生きた学びを得ることができました。

富山で起業するのは孤独じゃない:

富山は起業・創業者が少ない県ということもあり、富山でフリーランスとして働いているときは少し孤独を感じていました。しかし、とやまスタートアッププログラムでは、富山で起業を志す人たちが集

まっており「自分は1人じゃないだ!」と感ずることができました。また、プログラムを通して参加者同士でピッチの練習をしたり相談したりと切磋琢磨し合えたことで、分野は異なれど今後もビジネスで富山と一緒に盛り上げていく仲間だと思えるようになりました。

半径5mの本物の起業家マインド:

スタートアッププログラムでは現役のスタートアップを専門とする大学教授、起業家・投資家の方々を講師を務めてくださっています。講義では熊野先生はじめ、講師の先生方は、実体験に基づいたスタートアップビジネスの知識やスキルなど惜しみなく私たちに教えて下さいました。このような貴重な経験はなかなか得ることができません。一流の大学教授、起業家・投資家を講師に8ヶ月間学ぶという経験で本を読むだけでは得られない本物の起業家マインドを学べたように思います。

私は富山の林業の現状を多くの人に知ってもらおうととスタートアップビジネスを学ぶことを目的として、今回のとやまスタートアッププログラムに参加しました。この2つの目的の達成はもちろん、その他にもたくさんの学びを得ることができました。今後はとやまスタートアッププログラムで学んだことを活かして、更にビジネスプランをブラッシュアップして、実行に移していきます!そして、林業スタートアップビジネスを通して、人と木と山がwin-winになるような社会を目指していきます。ここまでのビジョンを明確にできるようになったのも、とやまスタートアッププログラムのおかげです。講師の先生方、運営スタッフの方々、本当にありがとうございました。

DEMO DAY 2024 協賛企業賞 受賞結果



遊休施設で農業工場事業
アグリ・リノベイト
(八幡 磨末子)



林業の端材活用
エコシステム構築事業
HITOTOKI TOYAMA
(長田 光司 / 斎藤 李樹)



遠隔リハビリテーション事業
TherapEase (セラピース)
(伴 大輔 / 澁谷 優斗 / 紺島 悠生)



遊休施設で農業工場事業
アグリ・リノベイト
(八幡 磨末子)



遠隔リハビリテーション事業
TherapEase (セラピース)
(伴 大輔 / 澁谷 優斗 / 紺島 悠生)



出身者とふるさとを結ぶ
プラットフォーム事業
ふるさとコネク
(高島 一誠)

VOICE



麻生 和寛

本プログラムにおいて、良かった点は2つです。
1つ目は【アイデアの出し方が分かったこと】です。これまで、自分がやりたいことから、アイデアを考えていました。いわゆる「自分視点」からのものです。しかし、講師の方から「誰かの課題を解決すること」から考えていくべきだと指摘されました。そのために、「自分は〇〇だと思う」ではなく「顧客は〇〇だと言っていた」のように主語が顧客にならないといけなと実感しました。
2つ目は【相談できる仲間ができたこと】です。講義が終わった後、東京メンバーで毎回、ご飯に行き、アイデアのブラッシュアップをしました。起業仲間が出来たことは、かけがえのないものとなりました。



越後 敬介

スタートアッププログラム参加は、自身のビジネス目標に真摯に向き合えた貴重な経験でした。他の参加者の社会の課題解決の熱意に触れ、自らも励まされました。周りのメンバーがビジネスプランをブラッシュアップしていたのに対して、ビジネスプランを自分は最初から決めておりブラッシュアップを経験できなかったことは残念です。専門技術を分かりやすく伝えること、課題解決に対する熱意を伝えることの大切さを実感しました。有名なVCの方々に、自分のビジネスプランを、熱意を持ってピッチ発表できたことは、かけがえのない経験です。この経験を活かし、ビジネスを更に発展させていきます。



紺島 悠生

今回は協賛枠として参加させていただき、銀行員としても大きく成長を感じたプログラムでした。本プログラムへの参加を希望した経緯はVCがどのような目線でスタートアップ企業を観ているのか学びたかったからです。当行内にもVC部門があり、私自身その分野への配属を希望しています。8ヶ月のプログラムを通して自分なりの投資目線も養うことができました。今後もし希望部署への挑戦の機会があれば、富山から日本を代表するようなスタートアップ企業を創出すること貢献できれば幸いです。何よりも切磋琢磨し合った本プログラムの同期に出会えたことが一番の幸せです。最後になりますが、熊野先生をはじめとした講師陣の方々、運営いただいた富山県の方々に感謝の気持ちでいっぱいです。



斎藤 李樹

今回のスタートアッププログラムを通して思った事は県内には大学生や会社員などの大勢の人間が自分達のように起業に向けて動いている人があるんだと驚きました。
大人になっていくとやりたい事や夢を語るとは恥ずかしい事と思うようになり、だんだんそんな話題を避けるようになっていく、だけど今回のプログラムを通して仲間が見つかり共に夢に向かっていく。全然恥ずかしくもないし部活をやっていた頃のような青春に似た「なにか」を感じた日々を過ごし終わったことが少し名残惜しくも感じます。

志を持つ者達が集まる

一人ではない

今から起業に向けて動き始めるにはとやまスタートアッププログラムは最高のプログラムです。



澁谷 優斗

今回のとやまスタートアッププログラムを通して、スタートアップは挑戦の連続であると身を持って体験しました。講師の方々の支援もあり、挑戦するたびにありがたいフィードバックを頂き、そのたびに自分の中でスタートアップのマインドやプレゼン資料の作り方、プレゼンのやり方などのスキルが身についたと思います。また、同じスタートアップを志す方々に出会い、一緒にチームとして挑戦できたことが思いがけない収穫でした。今までは起業は孤独なもの、という考えが強かったのですが、現在はそれとは真逆の考えを持っています。今後もこのプログラムで得た学びを活かして事業に取り組んでいこうと思います。ありがとうございました！



坂林 優太郎

長いようであっという間でしたが、今回は残念ながらヒアリング・市場調査不足や実現可能性に欠ける部分が多くあり、最終まで残ることはできませんでした。今回プログラムに参加して、複数回のプレゼンでの講師との壁打ちや参加者同士のFBを通して自分たちのビジネスプランは甘すぎるということに気づくことができました。
また、他参加者のプレゼンを拝見して、「今まで積み上げてきたキャリアや経験・ビジネスプランに対する思いや熱意」がとにかく凄いなと強く刺激を受けました。
今回のスタートアッププログラムに参加して、「ビジネスを考える際には何を考えて何が必要なのか」、「自分には何が足りていないのか」自分の考えについて改めることができました。
今後の人生の1つの思い出、糧として役立てていきたいと思っています。

VOICE



高島 一誠

私は会社経営者ですが、新規事業の立ち上げ、既存事業の抱える問題の解決を目的に受講しました。自身（自社）とサービスの対象者（顧客、取引先）の位置付け、企業活動を何のためになぜ行うのか、というビジネスの基盤とするべき部分にじっくり向き合い、かつ論理的に考えることができました。同時に若い受講生の皆様にも受け入れてもらい、デジタルツールの活用方法を教えてもらい、また起業を目指す姿勢から日常の中では得られない刺激ももらいながら、自分のビジネスプランと向き合うことができました。衰え始めた脳内をフル回転させるのは少々大変でしたが、受講してとてもよかったです。



長田 光司

とやまスタートアッププログラムの参加の目的は、林業の現状をより多くの知ってもらいたいという気持ちと体系的にビジネスを学んでみたいという想いからでした。結果、DEMO DAY2024 では多くの方の前でピッチをすることができ、また準優勝と北陸銀行賞を頂くことができ、当初の目的が達成できました。全8回のプログラムでは、ピッチ練習をとにかく繰り返しフィードバックを頂くという超実践型のプログラムで生きた学びを得ることができました。また、プログラム参加者同士で励まし合い、切磋琢磨し合い DEMO DAY2024 に向けてピッチを作ったのも良い思い出です。今後もプログラムで学んだことを活かして富山に貢献するようなビジネスを展開していきたいと思っています。



八幡 磨未子

約8ヶ月間、スタートアップ同期とも呼べるメンバー達とがんばってきてとても励みになりました。家族や友人には相談しにくい、新規事業のアイデアなどもお互いにヒントを与えあったり、語ったりがとても楽しかったです。このプログラムでは普段はあまり関係することがないような業種や学生の方々とも仲間になれることが魅力でした。これから起業や自分の事業などで相談したいことがあったりすると、一番に話したい仲間達だったと思います。もちろん仲間づくりだけでなく、事業をつくり経営していくことを目指しているの、これを契機に着実に進めていきたいと思っています。毎月のプレゼンを繰り返し、最後のプレゼンでも緊張もしましたが、発表すること誰かに伝えることの度胸は少しついたかなと思います。



衛 史隆

会社では得られない経験ができたので、参加してよかったと感じています。講師の方々の分かりやすい講義は、多くの学びが得られた有意義な時間でした。また、参加者のビジネスプランに対する先生方のフィードバックは、毎回新たな気づきや学びを得ることができました。講師の方々をはじめ、県庁の方や多くの方にご尽力いただいたこともあり、素晴らしいプログラムになったと思います。ありがとうございました。このプログラムで得たことや学んだことを無駄にせず、今後の活動に活かしていきたいと思っています。



米山 浩行

本プログラムへは協賛企業である（株）北陸銀行から研修という形で参加させていただきました。神戸大学の熊野先生をはじめとする講師陣の講義は大変勉強になりました。また、レオス・キャピタルワークスの藤野社長の講演、新田知事との交流、アグベンチャーラボの荻野理事長の講演と貴重な体験をすることができました。引き続き今後も銀行員として働きますが、協賛企業として本プログラムに参加していた方々の支援はしていきたいと思っています。本プログラムを通して、日常では関われない人と出会うことができ、交流の幅が広がりましたし、新たな経験をすることができ成長することができたと思います。



伴 大輔

とやまスタートアッププログラムでは、実施期間の間の8ヶ月の間で非常に丁寧かつ時には厳しく、でも非常に温かく見守ってくださるプログラムでした。基本的にはピッチを毎月行っていく形が中心ではありますが、毎回見ていただく中で自身の事業と向き合う作業になると思います。その過程で、同じチームを組む人や違うチームの方と自然と仲が良くなっていったり意見を建設的にぶつけ合ったりすることがとても勉強になりました。



【問い合わせ先】 富山県 地域産業振興室 スタートアップ創業支援課

Tel: 076-444-8908

Email: achiikisangyoshinko@pref.toyama.lg.jp

<https://toyama-startup.com/>

